

卒業研究		演習	准教授 黒沢 賢一	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目	科目ナンバリング	11130401	

1. テーマ

警察官，消防官，市町村職員などの公務員試験に合格するために必要な知識の分析・習得とそれぞれが受験する地域の特性とまちづくり研究。

2. ゼミのねらい・概要

警察官採用試験は都道府県単位で，消防官採用試験と市町村職員採用試験は市町村単位で行われる。本ゼミでは警察官，消防官，市町村職員をめざす学生を主な対象として，それぞれの試験に合格するために必要な知識を身につけさせ，同時にゼミ生一人ひとりがめざす試験が行われる都道府県，市町村にはどのような特色があり，またそこではどのようなまちづくり，地域づくりが行われているかを政治学，行政学，地方自治の専門的知識をもとに考察，分析していく。

3. ゼミ計画

ゼミでの指導内容は概ね以下の通りだが，ゼミ生の公務員試験受験状況に応じて，指導順序は変更する場合がある。

〈前期〉	〈後期〉
1. 前期ガイダンス(授業予定，注意事項)	16. 後期ガイダンス(研究発表の方法)
2. 公務員試験分析 1 (小論文・作文の書き方)	17. まちづくり研究発表① (ゼミ生第 1 グループ)
3. 公務員試験分析 2 (適性試験対策)	18. まちづくり研究発表② (ゼミ生第 2 グループ)
4. 公務員試験分析 3 (面接対策)	19. まちづくり研究発表③ (ゼミ生第 3 グループ)
5. 公務員試験分析 4 (グループ討論対策)	20. まちづくり研究発表④ (ゼミ生第 4 グループ)
6. 公務員試験分析 5 (志願理由書の書き方)	21. まちづくり研究発表⑤ (ゼミ生第 5 グループ)
7. 公務員試験分析 6 (面接シートの書き方)	22. まちづくり研究発表⑥ (ゼミ生第 6 グループ)
8. 公務員試験分析 7 (時事問題解説講義)	23. まちづくり研究発表⑦ (ゼミ生第 7 グループ)
9. 公務員試験分析 8 (頻出問題演習①)	24. まちづくり研究発表⑧ (ゼミ生第 8 グループ)
10. 公務員試験分析 9 (頻出問題演習②)	25. まちづくり研究発表⑨ (各グループ発表の総括)
11. 公務員試験分析 10 (頻出問題演習③)	26. まちづくり研究発表⑩ (各グループ発表の総括)
12. 公務員試験分析 11 (頻出問題演習④)	27. 卒業論文指導①
13. 公務員試験分析 12 (頻出問題演習⑤)	28. 卒業論文指導②
14. まちづくり研究 (卒業論文執筆に向けた準備)	29. 卒業論文最終指導
15. 前期まとめ講義	30. 後期まとめ講義

※公務員試験は 4～9 月に行われるので，前期は公務員試験分析，後期はまちづくり研究を重点的に行う。

4. 準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

警察官，消防官，市町村職員採用試験に合格するためには，毎日，勉強することが求められる。ゼミで紹介された知識や問題を復習し，その類題を解くためには最低でも毎回 3 時間以上は必要になる。このほか指定された教材を自力で解いていかなければならず，それぞれが選んだ地域のまちづくり研究の成果発表，論文執筆のための時間も必要になる。

5. 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

研究発表時に個別に講評し，レジュメやレポートの返却時に評価のポイントや改善点などを指摘する。

6. ゼミにおける学修の到達目標

- (1)警察官，消防官，市町村職員などの公務員試験の仕組みが理解できるようになる。
- (2)公務員試験に合格するために必要な知識を修得する。
- (3)合格をめざす地域の特性やまちづくりの特色がわかり，それを論文にまとめられるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

ゼミへ取り組む姿勢(50%)とレジュメ，レポート，論文の内容(50%)によって評価する。

8. テキスト・参考文献

プリントを配布し，公務員受験に必要な教材や論文執筆のための参考文献等は随時，個別に紹介する。

9. 受講上の留意事項

ゼミ生には何よりも自主的に学ぶ姿勢が求められる。

ゼミ中の私語やスマートフォン，イヤホン等の使用，他のゼミ生に迷惑となる教室内の秩序を乱す行為については，厳しい態度で臨むので十分注意すること。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本ゼミは，地方議会における実務経験(市議会議員)を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。